

# ダンボール

「災害時避難所用ダンボール製簡易間仕切り」



株式会社内藤

〒407-0051

山梨県韮崎市円野町上円井3025

TEL.0551-27-2121 FAX.0551-27-2312

# 目次

はじめに	(1)
1．開発の経緯	(2)
2．製品仕様	(2)
寸法（展開寸法・折りたたみ寸法）	
重量	
3．特長	(3)
4．使用方法	(3)
5．使用事例	(5)

## はじめに

日本各地において多くの災害が発生しています。その都度避難場所が設定され、多くの住民が避難生活を余儀なくされています。

しかしながら、多くの人々が集団生活する避難場所へ移ることで生活環境が大きく変化し、プライバシーの問題、精神的なストレス等多くの問題が発生しています。

このような中、弊社では2000年に災害時の避難場所においても最低限のプライバシーが守られるような商品として「ダンホーむ」を企画開発致しました。

2004年の「新潟県中越地震」、2007年の「新潟中越沖地震」、2011年の「東日本大震災」においても避難場所で使用され、その効果は証明済みです。

地方自治体の災害対策用備品の他に学校、公共施設、ショップ、オフィスと様々な場所での利用が可能です。

## 1 . 開発の経緯

1995年1月に発生した阪神淡路大震災の時に、災害避難所の様子がマスコミの報道を通して数多く報道されました。その際にただでさえ不自由な生活を強いられる中、「被災者の方々からプライバシーが守られず強いストレスを感じるが多かった」ということが言われました。

また、間仕切りの代わりに、ダンボール箱を積み上げて壁のようにして使っている写真や映像を幾度となく見ました。この時、ダンボールで間仕切りができないかと考えた結果、ダンボール製簡易間仕切り「ダンほーむ」の製作に致りました。

## 2 . 製品仕様

### 「ダンほーむ 90」

展開寸法	長さ 2,600 ~ 3,600 mm × 高さ 900 mm
折りたたみ寸法	長さ 1,000 mm × 巾 450 mm × 高さ 80 mm
重量	約 3.5 キログラム

### 「ダンほーむ 130」

展開寸法	長さ 2,600 ~ 3,600 mm × 高さ 1,300 mm
折りたたみ寸法	長さ 1,400 mm × 巾 450 mm × 高さ 80 mm
重量	約 5 キログラム

### 3 . 特徴

ダンボール製なので軽くて迅速、簡単にだれでも使うことができる

間仕切りとして視界をさえぎるだけでなく、防寒、遮音などの効果もある

使用後は畳んで小型化でき、リユースできる

### 4 . 使用方法

展開した状態



3枚使用し展開した状態



折りたたんだ状態



(4)

## 5 . 使用事例

2004年10月23日に発生した「新潟中越地震」の際に、山梨県甲府市のNPO法人「ボランティアネットワークEarth」のご協力を得て、長岡市内の長岡高校体育館（旧山古志村避難所）で使用していただきました。

通常の間仕切りのほか体育館入口の風除けとしての機能を果たしました。





山古志村避難所へ搬入中（写真はダンほーむ 150）

## 使用事例

2007年7月16日に発生した「新潟中越沖地震」の際に、新潟県柏崎市の柏崎商工会議所に災害救援物資として提供し、被災者の相談会場のパーティションとして使用していただきました。



柏崎商工会議所にて（写真はダンホーむ 150）

## 使用事例

2011年3月11日に発生した東日本大震災の際には、多くの避難所でダンボールを使用して頂いております。

岩手県滝沢村に山梨県韮崎市の「にらさき一升支援」の一環として500セット1000枚。山梨県小瀬スポーツ公園に開設された避難所に100セット200枚、新潟県新潟市に開設された避難所に700セット1400枚、福島県喜多方市に開設された避難所に200セット400枚と、それぞれ使用して頂き大変喜ばれました。



\* にらさき一升支援 (ダンボール130)



\* 山梨県小瀬スポーツ公園避難所（ダンホーむ 130）



\* 新潟市避難所 ダンホーむ 130(奥)とダンホーむ 90(手前)



福島県喜多方市避難所（ダンほーむ 130）



福島県喜多方市避難所（ダンほーむ 130）